

2015 年 2 号(初夏)

ギリシア危機が表面化してからはや5年、新政権が本年初めに発足して以降、欧州では『ギリシアのユーロ離脱』がいよいよ現実味を帯びてきているのは既報のとおりですが、同じような穏やかならぬニュースが、全く異なる地域から届きました。それは、英国です。同国では2017年に、あるいはそれよりも早く、EUに留まるか否かを問う国民投票の実施が予定されていますが、中央銀行は英国がEUから離脱する場合の国内経済に与える影響を、すでに調査し始めているそうです。

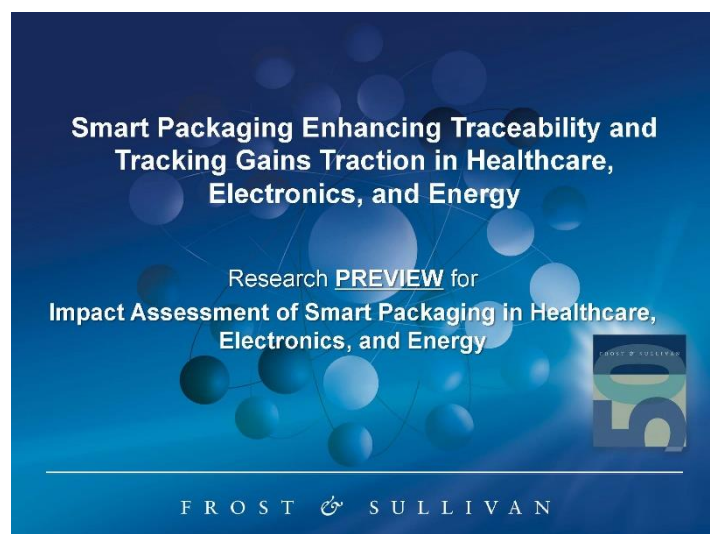
さて、およそ2か月半ぶりとなりますが、欧州包装 NEWS・2015年2号をお届けします。今号では

- [トレンド](#) スマートパッケージング、環境保護、デジタル包装印刷
- [業界・企業ニュース](#) Kronos、GEA、Edelmann、Bobst の動向
- [メッセ情報](#) グリーン・パッケージング・スター賞、『Save Food』プロジェクト

を取りまとめています。ぜひ、最後までご覧ください。

第1部：トレンド

スマートパッケージング



注目を集めているスマートパッケージングに関し、コンサルティング会社『Frost + Sullivan』がつい最近発表した調査によれば、すでに広く普及している医療、電子、エネルギー分野に加え、スマートパッケージングが特に成長すると見込まれているのは化粧品産業で、中でも『スマートラベリング』への関心が高まっているとのこと。NFCなどのインテリジェント技術の利用により、『スマートラベリング』は2020年まで毎年12.5%の成長が予測されています。この調査のまとめは、[⇒こちら](#)からダウンロードしていただけます。

出典:2015年4月 www.interpack.de サイト、
2015年1月6日付 Frost & Sullivan プレスリリース

サステナビリティ(持続可能性)・環境保護

イギリスの『Packaging News』誌が公表した調査によれば、現在の商品包装に大変満足しているのは、驚くことに消費者のわずか7%だけ、だそうです。換言すれば、アンケートに答えた93%は『改善の余地あり』と考えている、ということになります。これを分析すると、いくつかの傾向が明らかになりました。欧州の人々が高い関心を持つ『環境保護』という観点も、そのひとつです。やはり、少なくとも先進国の消費者は、自分が生きている世界の将来を考え、環境に優しいものを求めます。それは、包装についても同じことです。

『環境保護』対策をとる企業のひとつは、[欧州包装ニュース 2011 年 3 号](#)で包装印刷を取り上げたコカ・コーラ社です。最新情報によると、石油ではなく植物由来の素材を利用する『PlantBottle™』を、2020 年までに同社が製造する全ての PET に採用すること。自販機やスーパーなどで毎日販売されるボトル数を考えますと、環境保護に大きな貢献をすることが期待されます。

現在大流行している、ネスプレッソなどのカプセル式コーヒーマーカーについても、環境保護の観点が活かされた提案がなされています。それは、シンガポールのデザイナー [Eason Chow](#) 氏が開発した『Droops』です。ご存知のとおり、使用後のカプセルはごみと化しますが、Chow 氏の提案は、水やお湯に溶けるコーティングでコーヒを包むというものです。そのコーティングは主に砂糖由来ですが、ミルク成分を加えることも可能です。はたして、消費者の選択は今後どのようにになっていくのでしょうか。

出展:2015 年 5 月 8 日付 Packaging News 誌、
2015 年 4 月 22 日付 Verpackungsrundschau 誌

包装印刷: 次のステージへ

製品の包装における競争が、ますます激しくなってきたと言っても過言ではありません。高級感を演出する包装は、ずいぶんと普及していますが、期間限定の販促キャンペーンに代表されるような、さまざまな要望に対応する包装ソリューションは、今まさに注目を集めています。それに一役買うのがラベル印刷です。HP 社は、デジタル印刷による包装印刷の成長性を見込み、対応する機器を投入しています。業界メディアの予想も、デジタル印刷が形成する包装市場が、2018 年には 2013 年の 2 倍以上にまで拡大するとしており、HP 社だけではなく、日本のデジタル印刷機械メーカーにとっても、ビジネスが見込める分野ではないでしょうか。

出典:2015 年 5 月 12 日付 Neue Verpackung 誌

第 2 部: 業界・企業ニュース

クロネス社: 売り上げ増加

南ドイツに本社がある包装機械メーカー『Krones(クロネス)』社は、2014 年度の売上高が前年比 4.9%増加し、29.5 億ユーロ(4,130 億円相当)に、税引前利益率は前年比 13.1%増となる 1.918 億ユーロ(270 億円相当)に達したと、発表しました。特に高い成長が見られたのは、いわゆる新興市場です。

出典:2015 年 3 月 6 日付 Verpackungsrundschau 誌

GEA 社：受注増加

日本で5つの子会社を持つドイツの GEA グループは、本年第 1 四半期に、売上高と受注をさらに伸ばしました。受注額は、前年同期比 10.1%増の 11.275 億ユーロ(1,580 億円相当)、売上高は同 5.9%増、とのこと。

出典:2015 年 5 月 11 日付 *Neue Verpackung* 誌

Edelmann グループのアジア戦略

革新的な包装ソリューションで知られる(欧州包装ニュース [2015 年 1 号](#)、同 [2013 年 4 号](#)など)ドイツの Edelmann グループは、アジアでの活動を強化するため、インドの『Janus Packaging』社の買収を完了した、と報道されました。同社は、ヘルスケアとビューティーケア分野を中心に、高級段ボール包装を作り、年間約 600 万ユーロ(8 億円相当)の売上高をほこる企業です。

出典:2013 年 9 月 18 日付 *Verpackungsrundschau* 誌

Bobst は、ラベル印刷事業を強化

スイスの Bobst グループは、ビジネス拡充の一環として、ラベル印刷事業を強化するため、イタリアの印刷機械メーカー『Nuova Gidue』社の 65%の株式を取得したことが明らかになりました。メディアによれば、同社は残りの株式の購入も可能なオプションを確保できたそうです。

出典:2015 年 5 月 15 日付 www.print.de サイト

第 3 部：メッセ情報

『グリーン・パッケージング・スター賞』

環境保護に取り組む包装を表彰する、オーストリアのグリーン・パッケージング・スター賞は、去る 5 月 7 日に 4 部門の受賞企業を発表しました。『製品』部門では、バイオプラスチックと段ボールから作られた飲料包装を提案するテトラパック社が、『製造加工』部門は、100%リサイクルされた PET 由来の卵パックを作る Ovotherm 社が受賞しました。また、『企業理念』部門は、製造に必要なエネルギーを主に太陽光発電でまかなう Robatech 社が、特別賞として、ミツバチを運ぶ養蜂箱を開発した Smirufit Kappa 社が、それぞれ獲得しています。

出典:2015 年 5 月 11 日付 *Neue Verpackung* 誌

Save Food Forum @ Nestlé

ムダな食料品廃棄とその撲滅を考える『[Save Food](#)』は、国際連合食糧農業機関(FAO)、国際連合環境計画(UNEP)、メッセ・デュッセルドルフの 3 者が、2011 年の interpack 会期中に立ち上げたプロジェクトです。以降、回を重ねるごとに参加企業・団体が増加し、本年 5 月にネスレ・スイス本社で行われた会合には、およそ 170 人もの関係者が集まり、包装によってムダな食料品廃棄をいかに削減できるか、活発な議論がなされました。本号既述の『ネスプレッソのカプセル』も、話題になったそうです。



出典:2015 年 5 月 13 日付 *Verpackungsrundschau* 誌

欧州包装 NEWS・2015 年 2 号は、いかがだったでしょうか？ご意見やご要望をお聞かせいただければ幸いです。

【発行】(株)メッセ・デュッセルドルフ・ジャパン

【編集担当】メルケ・橋木 【メッセ担当】橋木

<http://www.messe-dus.co.jp> ・ <http://interpack.messe-dus.co.jp/>



本ニュースレターの掲載情報は発行日現在のものであり、予告なく変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。